

公募審査（採択）結果の公表

令和8年1月27日  
経済産業省製造産業局航空機武器産業課

事業名：令和7年度「脱炭素成長型経済構造移行推進対策費補助金（小型エンジンMRO拠点強化支援事業）」

（採択事業者）		
事業者名	法人番号	提案価格
一般社団法人低炭素投資促進機構	9010005015587	556,500,000

（提案事業者名）  
①一般社団法人低炭素投資促進機構

（審査委員属性）  
大学教授  
国立研究開発法人職員  
国立研究開発法人職員  
※審査委員の属性と下記にある委員の順番は対応していない

（採点結果）				
提案事業者名	委員A	委員B	委員C	合計
一般社団法人低炭素投資促進機構	157	130	114	401

提案事業者名	提案書の記載内容	事業規模及び継続性	本事業の成果を高めるための効果的な工夫が見られるか。	本事業の関連分野に関する知見を有しているか。	事業規模等に適した実施体制をとっているか。	コストパフォーマンスが優れているか。	事業全体の企画及び立案並びに根幹に関わる執行管理部分について、委託・外注を行っているか。	業務管理費に対する委託・外注費の額の割合が50％を超えていないか。	賃上げの取組をしているか。	ワーク・ライフ・バランスの取組をしているか。	「魅力発見！三陸常磐ものネットワーク」に参加登録を行い、取組事例が公表されているか。	合計
一般社団法人低炭素投資促進機構	適	44	70	50	37	75	37	22	30	6	30	401

（評価コメント）	
提案事業者名	コメント
一般社団法人低炭素投資促進機構	<p>・本事業は日本の航空産業の成長を促し、国際競争力を高めるために重要である。4年におよぶ事業期間で着実な成果を挙げられるように、経済産業省、有識者と連携し、事業者に寄り添いながら充分にサポートしていくことを望む。</p> <p>・本事業を適切に進めるための能力・実績を備えた機関と考えられる。他方、委託先も高度な知見と豊富な実績を有する組織と考えられるため、明確な作業分担方針に基づき提案者自身の知見を最大限に活用されることを期待する。</p> <p>スケジュールの面では、交付決定から間接補助事業者の公募開始までの期間が少々タイトに映るが、本事業の着実な遂行に必要な体制・スケジュール等は概ね整えられている。</p> <p>・間接補助事業者の採択に際しては、一貫したMRO体制の整備とその知見の新製エンジン設計への反映という難しいテーマに際し、事業実施体制面だけでなく、産業競争力強化への貢献姿勢という視点でも評価しようとしており、政策目的を十分理解した提案となっている。採択後においても、間接補助事業者による当該事業の目的達成に向けた着実な事業遂行を担保すべく、当該分野の経験者や外部専門家の力も得ながら、審査・採択時に間接補助事業者経営層によるコミットの達成状況等を定期的な報告を求める形で確認を行うといった工夫も講じられている。他方、MRO一貫体制の構築とそこから蓄積された知見からどのように新製エンジン設計での競争力強化につなげていくのかについて、4年間の事業期間を通じてどのような道筋を描いていくのか、実施段階において実効性ある具体的な計画に落とし込んでもらいたい。特に、間接補助事業者への適切な補助実施を担保する適時適切な確認はもちろんのこと、着実な事業成果結実に向けた助言・支援（シニアフェローやコンサルティングファームをどのように関与させ、その知見をどのように活かしていくのか等）のしくみについては、事業者手前に作りこんで頂きたい。</p> <p>・複数年度に亘る事業期間において、社会情勢や事業環境の変化にも随時柔軟に対応しながら進めていくことも求められることから、“振れ幅への対応基準”のようなものを持っておくことも肝要と考える。そうした点においても、目標設定やその評価・検証等どのように行うか、また測定した結果をどのようにローリングし改善しながら成果最大化を図っていくのか、当該補助事業全体として着実に目標達成へ導いていく上での“マネジメント機能”についても、実行性ある体制を整えて臨まれることを期待したい。</p> <p>・航空機産業という技術的専門性が高い分野にあって、シニアフェロー、業務委託先、間接補助事業者という“専門家”に対して、単なる補助事業の執行機関としてではなく、航空機産業、なかでも高付加価値分野であるエンジン事業における国際競争力を獲得するという政策目的に対して、主体的な姿勢で取り組むよう心掛けて頂きたい。</p>